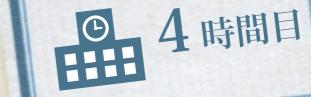


アートの時間



# 普段着でアート鑑賞

作家たちが自ら運営する工房やギャラリー、美術館、サロンなど、個性的なスポットが市内の身近なところに点在しているのをご存知ですか。陶芸作品や漆器、音楽など芸術と親しめる場所をご紹介します。

## 「美」は暮らしとともにある 奥内陶芸美術館（岡町北）



阪急岡町駅にほど近く住宅街にたたずむ奥内陶芸美術館。日本を代表する思想家である柳宗悦（1889年～1961年）により、大正15年（1926年）に提唱された「民藝運動」と共に感した実業家の故奥内豊吉氏が、昭和47年（1972年）に開設した私設美術館です。

「民藝運動は、民衆の暮らしを始めた手仕事の温かみを慈しみ、生活の用具に則した「健全な美」と表現、新しい美的価値観を提示するとともに、真の暮らしの豊かさとは何かを問いかけるものでもありました。

奥内豊吉氏が作家と親交を深めながら収集した「民藝」の陶器が同館のコレクションの中心。近・現代を代表する陶芸家の作品が多数展示されている様は庄厳です。全国各地から陶芸愛好家が訪れるなど、落ち着いた雰囲気のなかで心ゆくまで作品世界に浸ることができます。「お気に入りの器を見つけて、生活のなかで

使う場面を想像すると興味が湧いてくると思います。今後は、展示作品で実際にお茶を飲むなどの体験会も考えています。作品本来の使い方でそこ見える美しさを感じてもらえたら、暮らしを豊かにする心のゆとりも生まれるのではないか」と美術館の奥内史恵さん・佐々木昌子さん。



Here  
岡町北3-8-1 電話:06-6852-3842  
開館時間／10時～16時  
休館日／月・土・祝日、12月20日～翌1月10日  
入館料／大人300円、学生200円



## 散歩ついでに立ち寄ってみては お伽工房（緑丘）



常設の作品の数々  
竹内さんの人柄とセンスが感じられます

閑静な住宅地の中、可愛い金工細工の花が目印の「お伽工房」。入口へ続く2階へのアプローチではモダンなシーサーたちが出迎えてくれます。

自宅に併設された工房とギャラリーは、オーナーであり陶芸作家の竹内美佐央さんが、お伽大が好きなことから命名。回遊式でつながる窯、工房、ギャラリーは開口部が大きくとられ、自然の光がふりそぎます。

普段は竹内さんの作品が常設されており、大好きな北欧の影響を受けたその作品は、シンプルで機能的であります。手づくりの温もりが伝わってきます。

また、年2回、春と秋には展覧会が企画され、その都度竹内さんがお気に入りの

作家に依頼して開催。作家自らの作品解説を聞くことができる時間を用意することもあるとのことです。

「暮らしを豊かにしてくれる作品に触れ、アートを身近に感じてもらえる機会になればと思っています。作品へのこだわりや苦労話を聞かせていただくことで作品を見る目も深まります」と竹内さん。

「陶芸の体験もできます。普段の生活では自己主張は控えてしまいますが、アートの表現としてなら思い切って自分を出すことができます。鑑賞する楽しみ、作る喜びを味わっていただけるとうれしいです」。

## まちにあふれ出るクラシックの音色 ノワ・アコルデ音楽アートサロン（服部本町）



Here  
緑丘2-8-9 電話:06-6855-9870  
ギャラリー:教室のある日はオープン。  
その他は事前に連絡を。  
陶芸教室:火・水・木・日の10時～13時



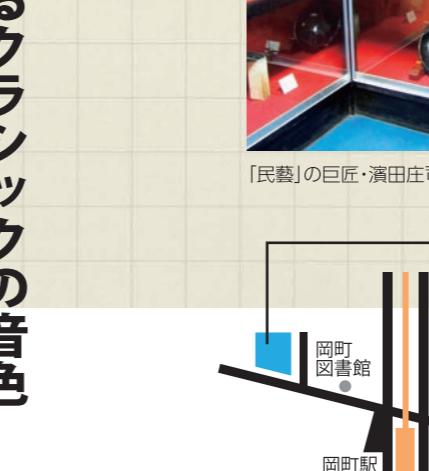
数々の絵画が飾られたサロンでは、プロの音楽家によるコンサートのほかに音大生の演奏会、60歳からピアノを始めたシニアによる発表会、さらには著名な音楽家による公開レッスン付きのコンサートなど、音楽好きにはたまらない魅力的な企画がたくさん。多くの人に音楽を通した交流をしてもらいたいといつ平井さんの熱い思いと人脈の賜物です。「ここでは、国籍や年齢、社会的な



バロック時代、貴族に愛好された優雅な楽器「フレミニッシュ2段鍵盤チェンバロ」を常設



Here  
服部本町2-5-24  
問合せはノワ・アコルデ事務所（服部本町1-8-20）まで  
電話:06-6862-8855（月火木金の10時～17時）  
FAX:06-6868-0595  
メール:nova-ac@music.email.ne.jp  
サロンの見学は事前に連絡を。



Here  
岡町北3-8-1 電話:06-6852-3842  
開館時間／10時～16時  
休館日／月・土・祝日、12月20日～翌1月10日  
入館料／大人300円、学生200円